

南中学校区

「市全体の将来像について（第2回より）」

■ 交流・つながりに関する意見

- 近所の人たちと笑顔を交わせるような優しいまち。
- 子どもが伸び伸びとし、高齢者との交流ができるまち。
- 人との”つながり”をもっと持てるまちにしていきたい。
- コンパクトで顔が見えるまち。
- 子どもから大人までのつながりがある場所。
- 地域による温度差を解消されたまち。
- 人と人とのつながり、まちと人とのつながり、市民同士（多世代間）の交流の場があるまち。
- 環境や社会情勢が変化しても、つながりを大切にしたい人の心は変わらないまち。
- 協力し合う人が集うまち。

■ 住みやすさに関する意見

- 暮らしの拠点としての住みよい環境。
- 良い点を残し、課題を克服し、コンパクトで、ネットワークの充実した住みたいまち、行きたいまち、選ばれるまちとして持続的に発展することで都市価値の向上につなげていきたい。
- 住みやすいまち、日本一。
- 住みよい、完全な住宅地域の市とする。
- すべての人にとって「住みやすい」まちにする。
- 市街化調整区域が多く、これを市街化し住宅地を開発、税収も増える。
- 安心して、一生住めるまち。
- 新しい魅力を創出するまち。
- 「このまちが好き！」と言える人がたくさんいるまち。

■ 子育てしやすいまちに関する意見

- 子育てを中心に生活を行うのに最適なまちをめざす。
- 子育てしやすいまちづくり。

■ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見

- 子どもたちが将来大人になった時、住みたい、関わりたいと自然に思うようになるまちにしたい。
- 若い世代がたくさん住み、その子どもも生き生きと生活しているまち。

■ 自然に関する意見

- みどり豊かで、教育に力を入れているまち。
- 狭山池の魅力をより一層高めるための努力。

■ 市民と行政等の協働に関する意見

- 市民と行政との風通しがよい仕組みができたまち。
- 行政と市民、親と子、高齢者と若者がつながる住みよいまち。

■ 歴史・伝統文化に関する意見

- 狭山の伝統文化が大事にされているまち。
- 歴史文化遺産を活用したまち。

■ その他

- 規制・誘導のまちづくりから地域・地区に応じたまちづくりへ。
- 医療の充実したまち。
- スマート・コンパクトシティの実現。

南中学校区の「まちの課題」と「取り組みたいこと」

(第5回より)

項目	まちの課題	取り組みたいこと
中心地 再開発	○ コミュニティセンター付近（コノミヤなど）の交通事情。車が渋滞する。 ○ コノミヤ付近の駐車場出入口が危ない。 ○ コノミヤ、マツゲン、郵便局、商店などの再開発。	○ 駐車場の整備、既存駐車場の有効活用。
あまの街道	○ あまの街道の案内版不足、駐車場が無い。整備、広報して市民の憩いの場に。 ○ あまの街道からのネットワークが無い。（活かせていない） ○ あまの街道の桜の木が台風で被害を受けた。	○ 回遊できるルートの整備。
空き家 ・空き地	○ 空き家が目立っている。空き家対策。 ○ 西山台4丁目・5丁目の団地。空き家、昭和のままの住まい。	○ 空き家・空き地の活用をしてほしい。人の募集、コーディネート。 ○ 今ある箱を有効活用する。 ○ 空き家をリノベーションして、市民の交流の居場所を作る。
大野ぶどう	○ 後継者問題。 ○ 大野ぶどうの活用が必要。	○ 大野ぶどうのふるさと納税、返礼品活用（冬期は引換券） ○ 直売店を増やす。 ○ ぶどうのオーナー制度。 ○ 家庭菜園のような対応ができないか。
近大 跡地利用	○ 近大病院の移転問題、跡地利用。	○ 近大跡地を、5年後を描いて住民も参加して考える。
高齢者	○ 高齢化率が市全体より高い。	○ コミセンの利用。
交通	○ 高齢化に伴う交通の確保。	○ 100円バスのルート見直し。
景観	○ 美しいまちづくり。（花、看板、彫刻）	○ 街に緑や花を。（壁面利用） ○ 開発と自然保護。
子育て環境	○ 若い世代、子育てが楽しい、地域で見守られているという安心感。 ○ 子育て世代向けの自然体験の機会がない。	